

メルヘンハウス通信

今月の和とく情報

裾回しに釘付け



新春を迎えろとお茶をされている方は初釜もあり、色無地紋付の活躍が多いようです。色無地を新調する方は素敵な色を探したい、ありふれていない色にしたいとお考えのようです。染めるときは理想は3回染め変えが可能な生地を用いるということです。無地は染め変えることができますから、なるべく上質の生地を選びたいものです。

そして反物の長さは1反の3丈物の生地より裾廻しの分が取れる4丈物の長さがあるものをお薦めします。最近では色無地紋付を注文なさる方は、ほとんどがお茶事に使われる方が多く使われる着物は裾が切れたりとても傷みます。普通の裾廻しの生地ですと表側より薄い裏地なので余計に弱いのです。

そこで4丈物の生地で作れば表の本体と同じ生地ですからより丈夫ですし、重みもあるので着た感じもどっしりとして良い感じになります。

これからの和とくポイント

裾廻しの工夫

せっかく4丈物の生地を使うのですから、色無地の着物も他の人よりはひと味変えたいものです。表と同じ生地が裾廻しになるのですからここで裾廻しに柄を入れてみます。

お茶席では立ったり座ったりお運びをしたりしますから、座るお客様の目には動く度に少しひらかえって見える裾廻しが目に入ります。裏の裾廻しに柄が少しあると、とても奥ゆかしくお洒落に見えます。

吹き寄せの柄、宝づくしの散らし、着る方が好きな花の柄等です。それから遠山や雲を暈かしてしたりと、柄が歩くたびにちらっと見えると裾廻しに目が釘付けになってしまうことでしょう。お洒落を楽しむ色無地の作り方も一つではないでしょうか。また染め直す時には、柄を生かして違う色にすることができます。裏にお洒落をして遊ぶのは着ている本人には見えません。他人の目に飛び込むのですから効果的です。ぜひ良い素材の生地で4丈物の約1.6メートルある反物で使ってみて下さい。素敵な色無地ができることでしょう。ただし染め方は引き染めでお願いしなくてはなりませんので、この点は注意してください。



きもの装い
新春の



今日もきもの気分



今年もあけましておめでとう

やしま呉服店からのお知らせ

あけましておめでとうございます。旧年中は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。おかげさまでやしま呉服店は今年創業71周年を迎えます。社員一同、「お客様に着物を楽しんでいただきたい」という基本に立ちかえって、着物文化伝承に取り組んで参りたいと存じます。本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

❀ 1月の催事・イベント ❀

- ◎お年玉市・・・13日(金)～16日(月)
- ◎月1キャンペーン・・・3日(火)～10日(火)
 - ・半衿・刺繍半衿・おしゃれ半衿・懐紙

※各詳細のお問い合わせはお店まで
◎HP: <http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

❀ さくらきもの学院 ❀

- ◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>
- ◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>
- ❀ レッスンのお申込受付ます♪
 - ・マンツーマンレッスン: 初等科6回
 - ・マイアップレッスン: 10,000円/10回
 - ・1dayレッスン: 500円/回
- ◎blog: <http://sakura-rarara.sblo.jp/>
- ※詳細はさくらきもの学院事務局まで



By: お藤